

矢掛町 —やかげちょう—



矢掛町は岡山県の南西部に位置し、江戸時代には旧山陽道の宿場町として栄えました。中心市街地には、国の重要文化財である旧矢掛本陣と旧脇本陣が現存する全国でも数少ない地域で、近年では観光地としても注目を浴びています。



優しさの70年 今までも これからも

実現のための4つの基本目標

1 矢掛に「雇用」を創出する

学生が地元での就職を希望する環境をつくるために、また、東京圏等の都市部からの移住者に本町を選んでもらうために、本町が持つ資源を最大限に活用して安定した雇用の創出に取り組んでいます。

また雇用の量だけではなく、魅力ある職場づくりに取り組み、雇用の質の向上、多様な人材の労働参画を目指します。

2 矢掛への「ひとの流れ」をつくる

本町では、平成27年度を「観光元年」として位置づけ、観光力強化に努めています。本町の認知度を向上させ、本町への「ひとの流れ」を生み出し、その流れを定住人口の増加につなげるため、移住者相談会の実施や、移住・定住者支援を積極的におこなっていきます。

3 矢掛に「結婚・出産・子育て」の希望をかなえる環境をつくる

男女の出会いの場の提供等をおこない、結婚の希望をかなえる環境をつくるとともに、子育てにかかる経済的支援や子育てと仕事の両立支援をおこない、子どもを育てやすい環境をつくります。

また、教育の充実のための取組も実施し、本町をさらに魅力ある環境とすることを目指します。

4 矢掛に「安心な暮らし」をつくり、地域と地域を連携する

地域の自主的な活動を促し、地域住民と協働してまちづくりを進めます。さらに高齢者や障害がある方も住みやすい環境を整備し、持続可能なまちを形成していきます。

町の中心部から離れた中山間地域の集落機能の維持・強化を図り、近隣市町村との広域的な連携を進め、効率的な行政運営をおこないます。

矢掛町まち・ひと・しごと創生推進事業

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄附を募集しています！

外国青年招致事業

平成5年から独自にアメリカ合衆国より英語指導助手として青年を招致し、各園を月に4回程度訪問し、歌・ゲーム・遊びを通じた楽しいレッスを行うなど保育園・こども園の園児を対象とした英語教育を行っています。

★アピールポイント

矢掛町は幼少期からの国際感覚の醸成、英語教育に注力しています。



結婚の促進

矢掛町では、結婚した夫婦に町独自の施策として、結婚祝金10万円と、特別栽培米きぬむすめ10kgを贈呈しています。

★アピールポイント

結婚する町民へ祝金を交付することにより、若者の定住を促進し、もって町の活性化及び次代の社会を担う新生児の健全な育成、資質の向上に資することを目的としています。



公共交通維持の取組

自家用車を主体とした生活スタイルの定着により、町内を運行する公共交通の利用者は減少傾向にあります。今後、さらなる人口減少と高齢化が予想される中、交通手段を持たない高齢者等にとって最適な交通手段の確保や、持続可能な公共交通体系の構築が課題となっています。

★アピールポイント

各公共交通を町外または町内の移動手段として位置づけ、それぞれ事業者や関係自治体等との連携により運行を維持・確保します。



保育園無償化・教育支援の取組

矢掛町では、子育て支援の一貫として、平成28年度から幼稚園保育料を無料としています。国の無償化制度の対象とならない0～2歳も町予算で無償化を実現しています。

★アピールポイント

経済的にお困りのご家庭に対して、お子さんが小・中学校で楽しく勉強できるよう、給食費や学用品費などの経費の一部を援助しています。



矢掛本陣マラソン大会

毎年2月第3日曜日に開催される「矢掛本陣マラソン」。矢掛町の歴史情緒あふれる旧山陽道を駆け抜けるコースが特長です。ランニングビギナーからファンランナーまで、さまざまなタイプのランナーが参加できる大会です。

★アピールポイント

子どもから大人まで、日ごろの練習の成果の発揮する場となっています。



重点
施策

矢掛高校魅力化推進事業

子ども・子育て支援
教育

現状・課題

矢掛高校は県内有数の歴史ある高校ですが、定員を割る年もあるなど、存続が危ぶまれています。

特色ある取組「やかげ学」では、地域の小学校や高齢者施設等で長期間に渡り活動し、社会性やコミュニケーション能力を身に付け社会人として成長していきます。



事業の目的・内容

矢掛高校の生徒確保及び学校の魅力化を図るための取組を支援することで、矢掛高校の存続、振興及び発展に寄与することを目的としています。

地域と協働した教育活動を推進するため、学校と地域をつなぐ役割を担う職員として、矢掛高校地域協働活動コーディネーターを設置するほか制服などの購入費用を助成しています。

重点
施策

矢掛町合併70周年記念事業

まちづくり

「優しさの70年 今までも これからも」

矢掛町は、令和6年5月1日に合併70周年を迎えました。

町主催及び町関係団体実施事業とあわせて、約90件の多彩な記念行事を計画し将来に向かって、夢と希望あふれる本町の更なる飛躍につなげます。



お問合せ先

矢掛町役場 企画課企画係 0866-82-1057

総事業費

545,350千円

数値目標

年間観光入込客数ほか

現状・課題

小田川はアウトドアや水辺の自然を感じる空間としての可能性があり、自然環境を活かした観光コンテンツを作り、道の駅、歴史文化資源、自然資源を周遊できる環境構築を目指します。



事業の目的・内容

- アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり、賑わいづくりの創出
- 道の駅周辺可能性調査・計画策定
商品開発・人材育成などの取り組み
- 道の駅周辺新賑わい施設基盤整備事業



お問合せ先

矢掛町役場 企画課企画係 0866-82-1057